



梅雨入り後は天候不順が続き、気温も高く推移しているため、現状は病害の感染拡大に好適な高温・多湿状態になっています。特に梅雨後半の薬剤散布が遅れると、輪紋病・黒斑病等の主要病害の果実感染が拡大します。梅雨明けまでは散布間隔を一定に保ち、降雨前の予防散布を徹底してください。

◆ 西洋梨の薬剤散布（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

☆ 7 月上中旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7 月 5 日～10 日 *注意事項①参照	◆ 散布日： 月 日
散布薬剤	水 1 0 0 0 当り 展着剤 1 0 mℓ ナリアWDG 5 0 g （前日、3 回） *注意事項③、④参照 サイアノックス水和剤 1 0 0 g （7 日前、3 回）	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、ハマキムシ類、シンクイムシ類、（腐らん病）	
散布量	10 アール当たり：600 ㍓以上	
注意事項	① 梅雨入り後天候不順が続いているので、前回からの散布間隔を 15 日として進める。 ② 前回散布後から雨が続けている場合は、オキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）を 6 月末～7 月初旬に特別散布する。有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内であるので、注意すること。 ③ ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。 ④ 毎年、輪紋病の発生が多い園は、ナリア WDG に代えて、IC ボルドー412 の 30 倍（100 ㍓に 3.3 kg）でも良い。ただし、他品目への飛散に十分注意する。 ⑤ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。葉やけの起きやすい条件は、①薬剤散布直後の降雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。	

（参考）
西洋梨有袋 7 月下旬の薬剤散布予定 ： 7/25～30（前回より概ね 20 日後）

◆ 西洋梨 6 月末～7 月中旬の重点作業 *必ずお読みください。

- ① 仕上げ摘果・袋掛け：果実肥大促進・輪紋病感染回避の理由から、6 月末までに袋掛け作業を完了してください。（7 月上旬に支部別園地点検を実施します）
- ② 土壌水分管理（土壌水分の激変を緩和しましょう！）
 - 土壌の乾燥は果実肥大に大きく影響するので、梅雨明け後に雨が少ない場合は、定期的にかん水を行いましょう。
 - 梅雨明け後に急激に土壌乾燥する可能性があるため、樹冠下に敷きワラ等のマルチを行いましょう。
- ③ 雑草管理：梅雨期間に雑草が伸びてきています。害虫の発生源となりますので、園内除草を徹底してください。
 - 除草剤使用基準：バスタ液剤（水 1000 当りバスタ液剤 500mℓ）

和梨の薬剤散布は裏面をご覧ください。

◆ **和梨の薬剤散布**（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【有袋】7月上中旬の薬剤散布（前回より15日後）

◆ 散布日： 月 日
◆ 散布量： リットル

散布時期	7月10日～15日　＊注意事項①参照
散布薬剤	水　　　　　　　　　　　100ℓ 展着剤　　　　　　　　　20ml　＊注意事項②参照 ベルコートフロアブル　　　66ml(14日前、5回) スミチオン水和剤40　　　　100g(14日前、6回)
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、ナシヒメシンクイ、カメムシ類、クワコナカイガラムシ
散　布　量	10a当り：450ℓ以上
注意事項	①　前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して行うこと。 ②　通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100ℓ当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。 ③　黒斑病の発生園は、ロブラール水和剤1,500倍（14日前、5回）を加用する。

(参考) 有袋 7 月下旬の薬剤散布予定 : 7/25~30

【無袋】7月上旬の薬剤散布（前回より10日後）

◆ 散布日： 月 日

◆ 散布量： リットル

散布時期	7 月 1 日～5 日 * 注意事項①参照	◆ 散布日： 月 日 ◆ 散布量： リットル
散布薬剤	水 1 0 0 リットル 展着剤 2 0 ml * 注意事項②参照 ロブドー水和剤 1 2 5 g (14 日前、5 回) サイアノックス水和剤 1 0 0 g (45 日前、3 回)	
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10 a 当り：450 リットル以上	
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して行うこと。 ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオン E の 1, 000 倍（100 リットル当り 100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。	

【無袋】7月中旬の薬剤散布（前回より10日後）

◆ 散布日： 月 日

◆ 散布量： リットル

散布時期	7月10日～15日　＊注意事項①参照
散布薬剤	水　　　　　　　　　　　100リットル 展着剤　　　　　　　　　20ml　＊注意事項②参照 ベルコートフロアブル　　　66ml(14日前、5回) ミクロデナポン水和剤85　　66g(45日前、3回)　＊注意事項④参照（劇物）
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、クワコナカイガラムシ、（シンクイムシ類）
散　布　量	10a当り：450リットル以上　＊注意事項⑤参照
注意事項	①　前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して行うこと。 ②　通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100リットル当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。 ③　黒斑病の発生園は、ロブラール水和剤1,500倍（14日前、5回）を加用する。 ④　ミクロデナポン水和剤は、劇物登録薬剤であるので、購入の際は印鑑をお持ちください。

(参考) 無袋 7 月下旬の薬剤散布予定 : 7/25~30